

<対策のポイント>

構造改革の加速化や国土強靱化に資する農業生産基盤整備のより効果的・効率的な実施、農業用地下水の開発・利用・保全及び地すべりの防止に係る基礎技術を確立し、計画基準等に反映するための調査を実施します。

<政策目標>

農業の持続的な発展のための構造改革の加速化や国土強靱化に資する農業生産基盤整備の推進

<調査の内容>

1. 計画基準調査

社会経済情勢の変化や科学技術の進歩に応じて、適切な土地改良事業の実施に資するための計画基準の改定に係る調査、検討を実施します。

2. 環境影響評価指針調査

環境影響評価の実績及び最新の科学的知見を踏まえた土地改良事業における環境への影響の予測及び評価に関する調査、検討を実施します。

3. 地下水調査

農業用地下水の利用状況、賦存状況及びその資源的価値の把握並びに地下水の開発・利用及び保全に係る調査、検討を実施します。

4. 地すべり調査

地すべり災害から農地及び農業用施設を保全するための地すべり防止に係る調査、検討を実施します。

<調査の流れ>



<調査イメージ>

①計画基準調査

- 計画基準改定に関する文献や事例の収集、基礎的な諸元の実態調査を実施
- 計画基準ユーザーからの意見等を考慮した改定案を作成し、有識者による議論を踏まえ計画基準「農業用水(水田、畑)」等を改定



水田での地下かんがいを用いた露地野菜栽培の用水特性調査(用水量調査)



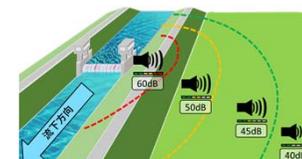
露地野菜栽培における降雨状散水方式の用水特性調査(土壌水分調査)

②環境影響評価指針調査

- 堰等の供用後に顕在化している大気環境への影響について、現象発生堰等の実態把握等を踏まえ、科学技術の進歩に応じた予測手法・環境保全措置等を検討
- 大気環境に係るアセス手法等の向上を図り、環境アセスメントの手引き(大気環境:騒音)に反映、取りまとめ



頭首工での越流による水膜振動等による音の発生



騒音の影響範囲の把握の例

③地下水調査

- 農業用地下水利用、農地・農業水利施設の保全等における重要指標として多くの地域で実施されている地下水観測について、観測施設の老朽化や地震等の影響による観測機能の障害発生等の実態を調査
- 地下水観測施設等の老朽化や観測上の障害発生事例等を整理・分析し、目的に合わせた地下水観測機能の保全・長寿命化等に資する技術資料を作成



老朽化した観測井
(設置から30年以上経過)



(洗浄前)



(洗浄後)

観測施設(観測孔内部)目詰まり事例
(孔内カメラによる撮影)

④地すべり調査

- 地すべり防止施設の長寿命化対策の取組や大規模地すべり対策から得られる新たな知見の収集、現地での普及が見込まれる新技術の実証調査
- これら新たな知見を踏まえ、地すべり対策の強化や個別施設毎の長寿命化計画策定のさらなる推進に資する技術資料の作成



地すべり防止施設のイメージ



UAV(無人航空機)による計測、調査

【お問い合わせ先】 (1の事業) 農村振興局設計課 (03-6744-2198)
(2~4の事業) 農村振興局鳥獣対策・農村環境課 (03-3502-6079)